

# 「地球と生命のれきし ー北海道が熱帯だった!?!ー」

- 日時：2013年11月4日（月・祝日）  
13:00～15:00（開場12:30）
- 場所：苫小牧市美術博物館ラウンジ（会場変更の場合は当日お知らせいたします）
- プレゼンター：伊庭 靖弘 博士  
（北海道大学自然史科学専攻 助教 / 古生物学者）
- 対象：中学生，高校生，高等専門学校生，大学生  
（一般の方もご自由に聴講していただけます）
- 定員：30名
- 申込方法：電話，HPから



一億年前の“さんご礁”

苫小牧市美術博物館

TEL 0144-35-2550

HP <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutukan/>

北海道を拠点に活動する若手研究者から，最新の研究成果のほか，研究活動に関する色々なお話を伺います。さらに参加者のみなさんと「研究とは？」，「調査・実験ってどうやってやるの？」などなど，科学に関することをはじめとした，色々な「？」について，語り合しましょう。当館ラウンジにて，気軽な空間の中で開催します。みなさんの参加をお待ちしています。

## プロローグ

私たち古生物学者は、何十億年も昔のことから、ある生物の一生涯で、さまざまな時間スケールで「生命」について考えています。皆さんも、「海の底はどうなっているのだろう？」とビーチでたそがれたり、「宇宙の果てには何があるのだろう？」と天を仰いだり、「私はどうしてここに存在するのだろう」と恐怖さえ感じるがあったと思います。古生物学者は、これらと同じような疑問、「大むかしの世界はどうなっていたのだろう」なんてことをサイエンスしています。

大むかしは、今とは全く違った世界だったはずですが。私たちの遠い祖先も、空を飛んでいる鳥の祖先も、そんな世界に生きていたのです。そして、確実にその「大むかし」の先に「現在」があって「私たち」がいるのです。今回のイベントでは、その一端をお見せできればと考えています。

「究極の温暖化が進行した1億年前の北海道とそこに生息していた海洋生物」、「超大陸の分裂と海洋生物の進化の話」などの私の最近の研究や海外、野外での調査活動なども含めてわかりやすくお話しします。壮大な地球・生命の歴史を知ることは、長い長い宇宙の歴史の中で私たち人類がどのような立ち位置にあるのかについて、強力なインスピレーションを与えてくれることでしょう。



## 伊庭 靖弘 (いば やすひろ)

1981年 東京都生まれ、江戸っ子。2008年 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻博士課程修了。博士(理学)。2008年 東京大学大学院理学系研究科研究奨励賞受賞。2009年 井上科学研究奨励賞受賞。2010年 日本学術振興会優秀若手研究者海外派遣事業採用。日本学術振興会特別研究員(国立科学博物館)、ドイツ・ルール大学博士研究員、北海道教育大学講師を経て、現在、北海道大学大学院理学研究院自然史科学専攻 助教。

博学連携事業

# サイエンスカフェ@苫小牧

～北海道から発信するアースサイエンス最前線～

「研究とは？」

「研究者ってどんな仕事？」

「調査・実験はどうやってやるの？」

「科学のどこが面白いの？」

「どうして研究者になったの？」

「国際共同研究って？」

色々な「？」について、  
気軽に語り合いましょう!!!

「海外生活ってどんな感じ？」

「大学ってどんなところ？」